

気候変動の影響が災害を甚大化させ、
紛争を引き起こし、難民問題を深刻化させている。

「気候危機」とも表される現状は国家や人間の
安全保障の問題ととらえ直す動きが広がり、
世界は「脱炭素」に向け対策を急いでいる。
気候変動問題を国際政治の観点から取材
してきた朝日新聞記者と成蹊大学の
専門家が、「気候危機」の現状と
課題を語り合う。



気候危機 で変わる世界

講演者



朝日新聞編集局長補佐 稲田 信司

1968年フランス・パリ郊外生まれ。1992年に朝日新聞社入社。テヘラン、ロンドン、パリで特派員。
紛争下のアフガニスタン、イラクでの取材経験もある。国際報道部部長。GLOBE編集長を経て現職。
「アフター・コロナ」の国際秩序、気候変動や移民などグローバルな課題、欧州統合の将来などに関
心が深い。



成蹊大学経済学部教授・成蹊学園サステナビリティ教育研究センター所員 財城 真寿美

1976年福岡県生まれ。奈良女子大学文学部卒業、2004年東京都立大学理学研究科にて博士（理学）を
取得。専門は、歴史気候学・自然地理学。日本の気象庁設立前の気象観測記録を世界各地で収集し、
寒冷な気候が卓越していた14～19世紀ごろの「小氷期」から、現在の「地球温暖化」にいたる気候変
動の地域特性について研究を行っている。

司会者

成蹊大学法学部教授・アジア太平洋研究センター所長 高安 健将

オンデマンド配信期間
2021.10.25~12.31

成蹊大学アジア太平洋研究センター（CAPS）公式ウェブサイト
<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>
または右記QRコードよりお申込みください。
お問合せ ☎ 0422-37-3549 ✉ caps@jim.seikei.ac.jp



CAPS公式ウェブサイト

成蹊 アジア太平洋

視聴
無料
要申込

先着
500
名